

その他の野菜の需給・価格動向について

(きゅうり、さといも、トマト、なす、ねぎ、ばれいしょ、ピーマン、ほうれんそう)

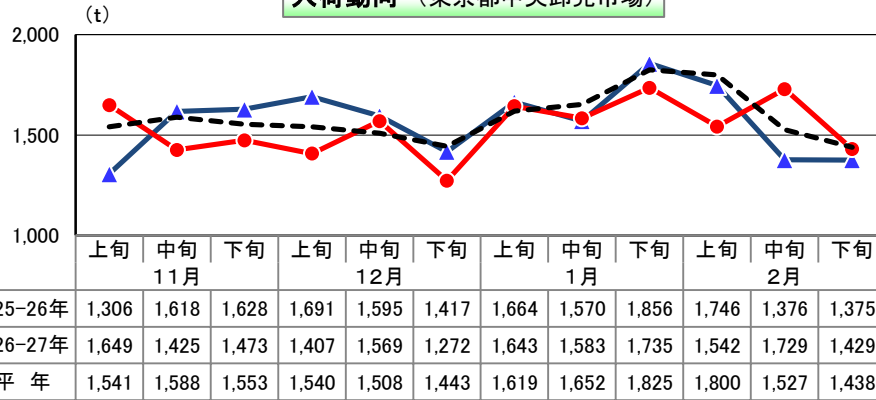
資料：東京青果物情報センター「東京都中央卸売市場における青果物の産地別入荷数量と価格」

注：平年とは、過去5か年（平成22～26年）の旬別価格の平均値である

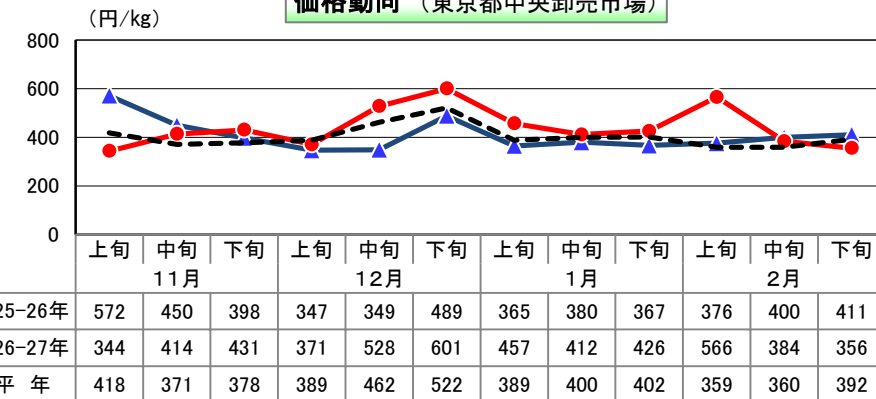
【きゅうり】（主な産地：宮崎、千葉、高知）

- 入荷量は、11月は埼玉県産や群馬県産において、降雪被害の影響による作付面積が減少したことから前年を下回って推移した。12月以降、主産地の宮崎・高知県産が低温などによる生育遅れから前年を下回って推移した。2月中旬以降は、降雪等で少なかった前年を上回った。
- 価格は、11月下旬以降、低温による入荷量の減少や年末需要や節分需要などから前年と平年を上回った。2月中旬以降は、降雪の影響で高かった前年を下回った。

入荷動向（東京都中央卸売市場）



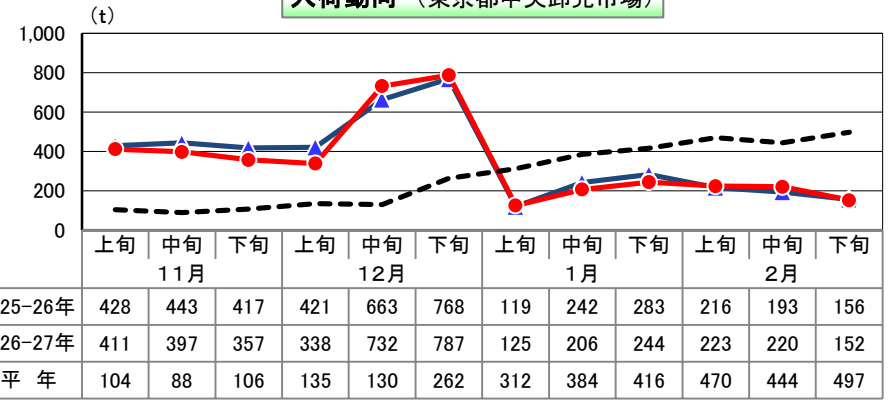
価格動向（東京都中央卸売市場）



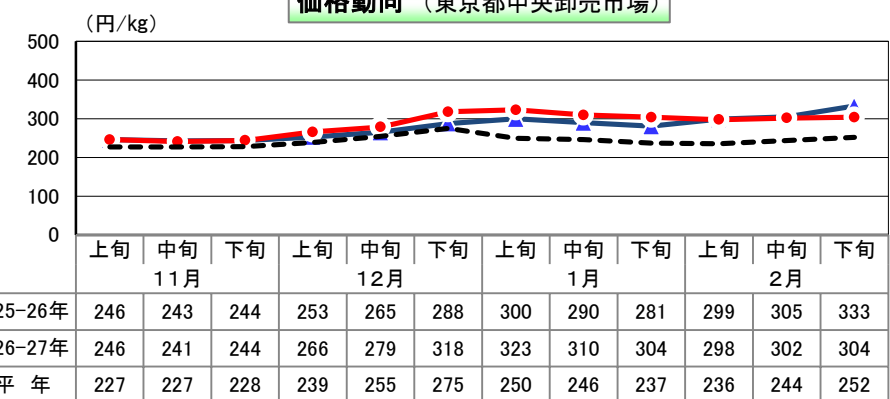
【さといも】（主な産地：埼玉、千葉）

- 入荷量は、11月は埼玉県産において生育は順調であったが、多かった前年を下回って推移した。12月は、主産地において天候に恵まれ生育も順調であった前年を上回って推移した。1月以降は、千葉県産が年末までの前進出荷や小玉傾向により少ない前年を下回って推移した
なお、埼玉県産は12月に収穫は終了し、1月より貯蔵品の出荷となる。
- 価格は、旬を追うごとに上げ基調となり、12月と1月は前年を上回り、期間を通して平年を上回った。

入荷動向（東京都中央卸売市場）



価格動向（東京都中央卸売市場）



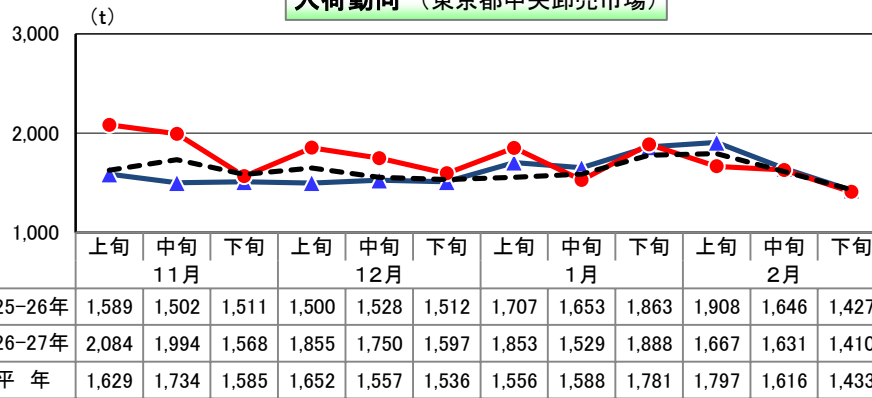
【トマト】（主な産地：熊本、愛知、栃木）

- 入荷量は、1月までは熊本県産や愛知県産などは天候に恵まれ、1月中旬を除いて前年を上回ったが、2月に入り熊本県産を中心に愛知県産や福岡県産などで低温などの影響による着色遅れから収穫が遅れ前年を下回って推移した。
- 価格は、緩やかな上げ基調であったものの、前半は低温の影響で高値であった前年を大きく下回り、後半は入荷量も伸びなかったこともあり前年を上回って推移した。

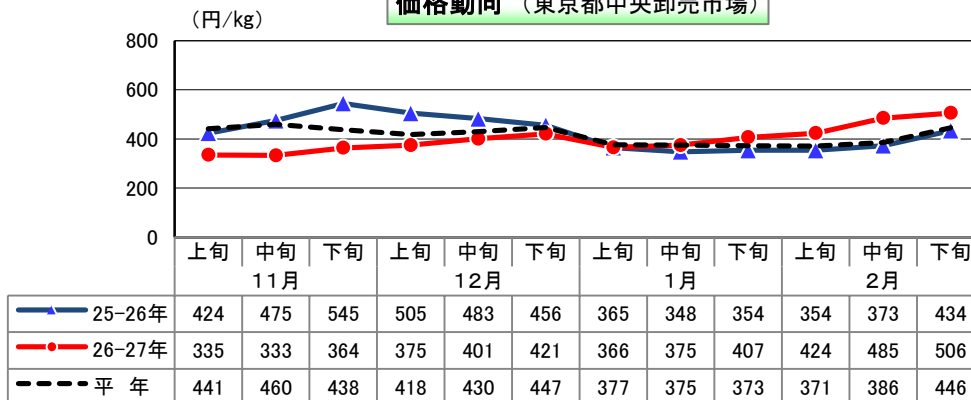
【なす】（主な産地：高知、福岡）

- 入荷量は、11月から12月にかけて、高知県産において、生育期の天候に恵まれ安定的な入荷となったことから概ね前年並みで推移した。1月以降、福岡県産において低温による肥大不足などから前年を下回った。2月は、低温・曇天の影響から、前年を下回って推移した。
- 価格は、11月から12月にかけては出荷が順調であったことから前年を下回って推移した。年末以降、主産地の出荷が停滞気味であったことから、2月下旬を除いて前年を上回って推移した。

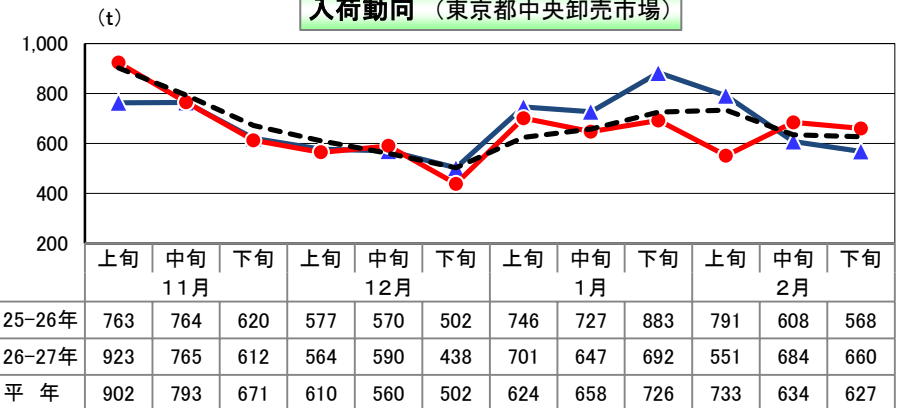
入荷動向（東京都中央卸売市場）



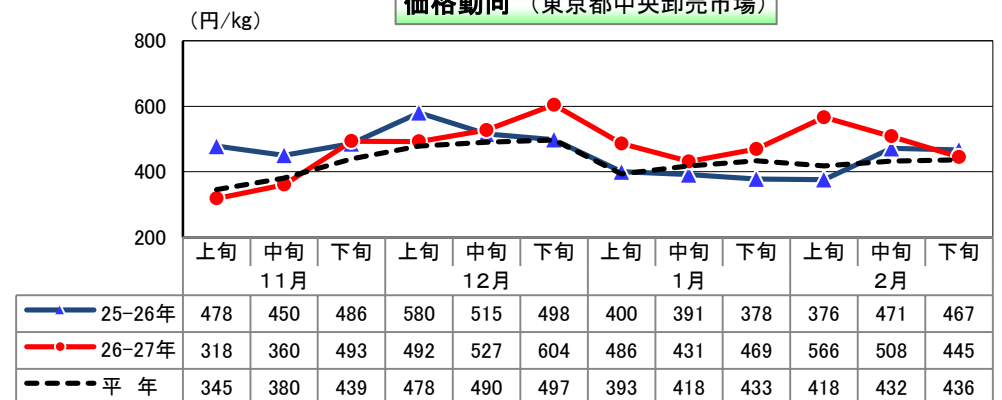
価格動向（東京都中央卸売市場）



入荷動向（東京都中央卸売市場）



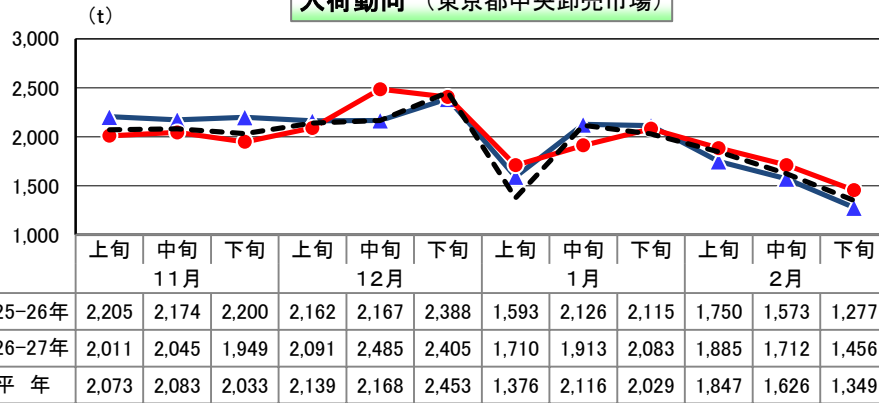
価格動向（東京都中央卸売市場）



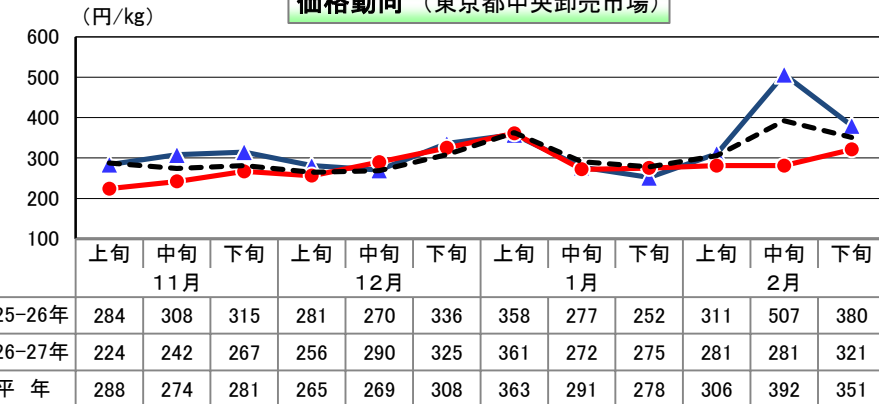
【ねぎ】（主な産地：千葉、埼玉）

- 入荷量は、11月は、青森県産や茨城県産の減少もあり前年を下回ったが、12月以降、主産地である千葉県産において生育期の天候に恵まれ、順調であったことや、茨城県産で作付面積の増加などにより概ね前年を上回って推移した。
- 価格は、11月は前年を下回って推移していたが、12月以降前年並みで推移した。その後は前年並みで推移していたが、昨年2月の大雪による影響で一時的に高値となった中旬を除き概ね前年並みで推移した。

入荷動向（東京都中央卸売市場）



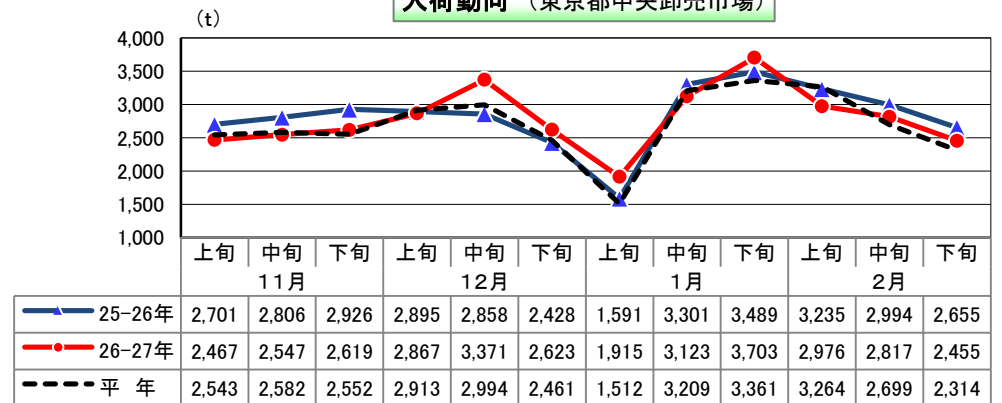
価格動向（東京都中央卸売市場）



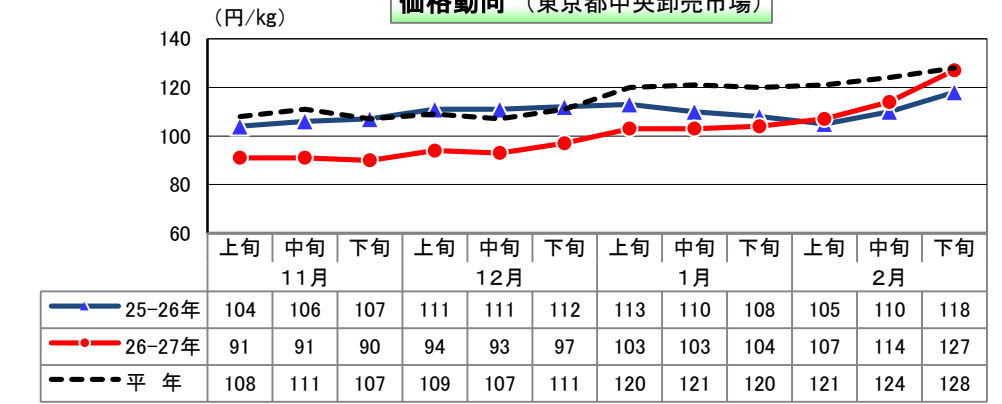
【ばれいしょ】（主な産地：北海道、長崎）

- 入荷量は、北海道を中心に概ね順調であったが多かった前年を下回って推移した。12月以降は、太宗を占める北海道産において、貯蔵物となるが安定的な入荷となったことから前年を上回った。2月に入り北海道産が前年を下回ったことから前年を下回った。
- 価格は、旬を追って上昇基調で推移したものの、前年及び平年をかなり下回って推移した。2月に入り、安値傾向であった前年を上回って推移した。

入荷動向（東京都中央卸売市場）



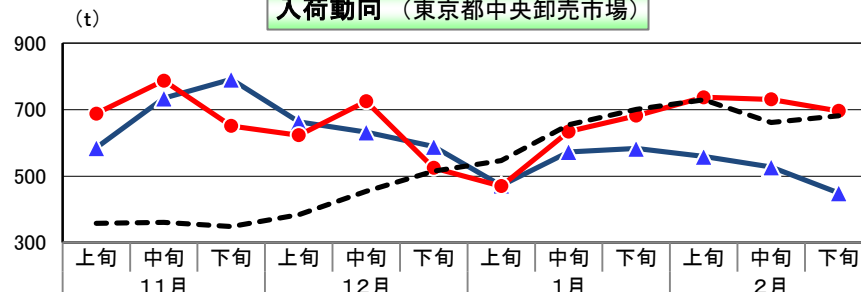
価格動向（東京都中央卸売市場）



【ピーマン】（主な産地：宮崎、高知、茨城）

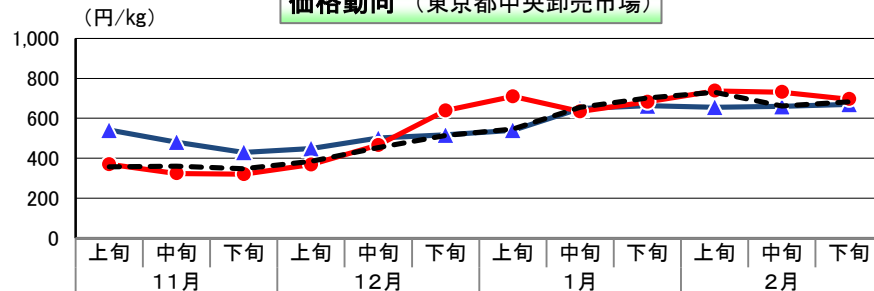
- 入荷量は、11月前半は茨城県産が天候に恵まれ順調であったが、11月後半には後続の宮崎県産で、定植期の曇天の影響もあり前年を下回って推移した。1月以降は、宮崎県産や高知県産において、天候に恵まれるなど生育が順調であったことから前年を上回って推移した。
- 価格は、期間の前半は夏場の高温の影響から高かった前年を下回って推移したが、12月以降は、上昇基調に転じ1月中旬に下げ基調となったものの、概ね前年を上回って推移した。

入荷動向（東京都中央卸売市場）



	11月			12月			1月			2月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
25-26年	585	734	791	663	632	589	472	573	583	559	527	449
26-27年	688	787	651	623	725	525	470	634	682	737	731	696
平年	358	361	348	384	454	515	547	655	701	730	661	682

価格動向（東京都中央卸売市場）

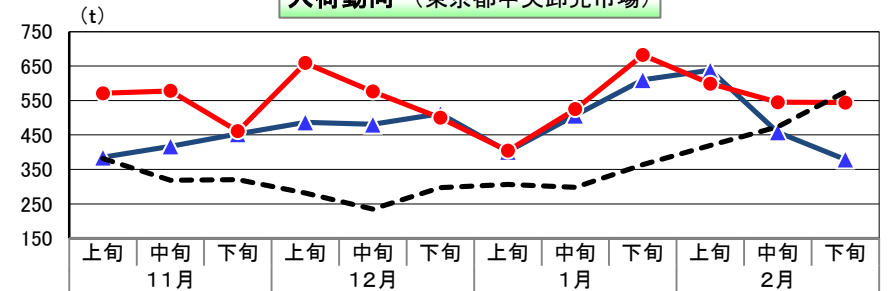


	11月			12月			1月			2月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
25-26年	541	481	430	449	501	517	540	649	663	656	660	670
26-27年	370	324	320	368	466	639	709	634	682	737	731	696
平年	358	361	348	384	454	515	547	655	701	730	661	682

【ほうれんそう】（主な産地：群馬、茨城、千葉）

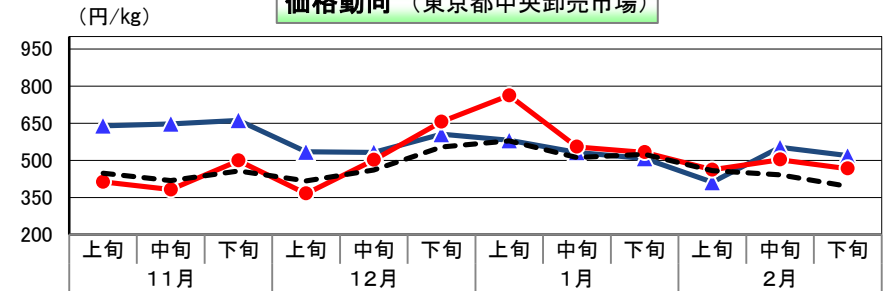
- 入荷量は、群馬県産において、11月は、気温も例年より高く、適度な降雨もあったことから、概ね前年を上回って推移したが、12月の低温により1月上旬にかけ下げ基調で推移した。1月以降は、主産地の天候も回復し概ね前年を上回って推移した。
- 価格は、11月は前年を下回って推移していたが、12月下旬以降は、入荷量の減少に伴い上昇し前年を上回った。2月中旬以降は、降雪の影響で高かった前年を下回って推移した。

入荷動向（東京都中央卸売市場）



	11月			12月			1月			2月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
25-26年	385	417	453	487	481	512	402	507	610	638	458	379
26-27年	571	578	461	659	576	500	404	525	682	599	545	544
平年	382	318	320	281	235	297	306	298	364	420	474	575

価格動向（東京都中央卸売市場）



	11月			12月			1月			2月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
25-26年	640	648	662	535	533	606	581	533	508	412	553	519
26-27年	413	382	499	366	502	656	762	555	533	462	503	467
平年	449	419	457	417	461	554	579	512	525	459	442	396